

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

単施設研究用

刺激伝導系のアミロイド沈着に関する剖検例調査

1. 研究の対象

令和 5 年 1 月から令和 7 年 6 月の間において高知大学医学部法医学講座で実施された法医学解剖例

2. 研究目的・方法

アミロイドーシスは不溶性の繊維状タンパク質であるアミロイド繊維が様々な組織の細胞外に沈着することで臓器障害を起こす疾患群です。心臓に沈着する心アミロイドーシスでは心臓伝導障害を起こす可能性が高いとされていますが、刺激伝導系へのアミロイド沈着に関する剖検調査は殆ど行われておりません。

本研究では、心臓の刺激伝導系におけるアミロイド沈着の有無を法医学剖検例で調査し、沈着部位や程度、年齢、死因等との関連について検討します。

- **刺激伝導系**：心臓が規則正しく拍動するために、電気的な興奮を心臓全体に伝える一連の組織のことです。
- **剖検調査**：亡くなった方の遺体を解剖し、死因や病気、治療の効果などを調べる調査のことです。

研究期間：研究機関の長の実施許可日～2030 年 3 月 31 日

利用又は提供を開始する予定日：2025 年 8 月 10 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：法医学剖検記録（年齢、性別、死因、臓器重量、病歴等）

試料：パラフィン包埋組織（残余試料）

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについてご遺族もしくはご遺族の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でもご遺族に不利益が生じることはありません。ただし、既に研究成果が論

文などで公表されているものについてはご希望に添えない場合もありますのでご了承ください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者

高知大学医学部法医学教室 古宮 淳一

高知県南国市岡豊町小蓮 088-880-2618

-----以上